

News Release



県下商工会と一体となり
小規模企業の支援を行っています

【令和 4 年 8 月期 小規模企業景気動向調査報告書】

本会では、県下商工会地区内小規模企業の景気を把握するため、商工会の経営指導員に協力依頼し、小規模企業景気動向調査を毎月実施しています。

このたび令和 4 年 8 月期の調査結果がまとまりましたので報告します。

1 調査概要

- (1) 調査時点 令和 4 年 8 月 31 日
- (2) 調査対象 県下 35 商工会（うち 34 商工会より回答）【回収率 97.1%】
- (3) 調査対象業種 製造業（食料品・繊維工業・機械金属）、建設業、小売業（衣料品・食料品・耐久消費財）、サービス業（旅館・洗濯・理美容）の 10 業種
- (4) 調査方法 商工会の経営指導員に対するアンケート方式
- (5) 集計方法 質問項目（業況、売上、仕入単価、採算、資金繰り）の「好転・増加・上昇」とする数値からそれぞれ「悪化・減少・低下」とする数値を引いた値

2 概要（トピックス）

【新型コロナの感染者数が増加する一方で、3年ぶりに行動制限のない夏季の観光需要等をプラス要因に、全体の業況はやや好転した】

産業全体の業況 DI（景気動向指数・前年同月比）は-34.8（前月-39.7、前年同月-26.2）で、前月比 4.9pt 好転した。サービス業は新型コロナの新規感染者数の増加が続いたものの、お盆や夏休み等の観光需要が徐々に回復し好転した。建設業はリフォーム需要を中心に受注が増加傾向にあり、長く不足が続いていた建築資材等の供給に改善の兆しが見えてきた。

【製造業】

業況は-28.5（前月-31.4、前年同月-8.8）と前月に比べ 2.9pt 好転した。食料品製造業では、原材料価格や光熱費等が上昇したものの、価格転嫁等により売上が増加し、業況が好転した。

【建設業】

業況は-47.0（前月-55.8、前年同月-32.4）と前月に比べ 8.8pt 好転した。不足が続いていた建築資材等の供給も徐々に改善の兆しが見え、リフォームに関連する受注が増加傾向で業況が好転した。

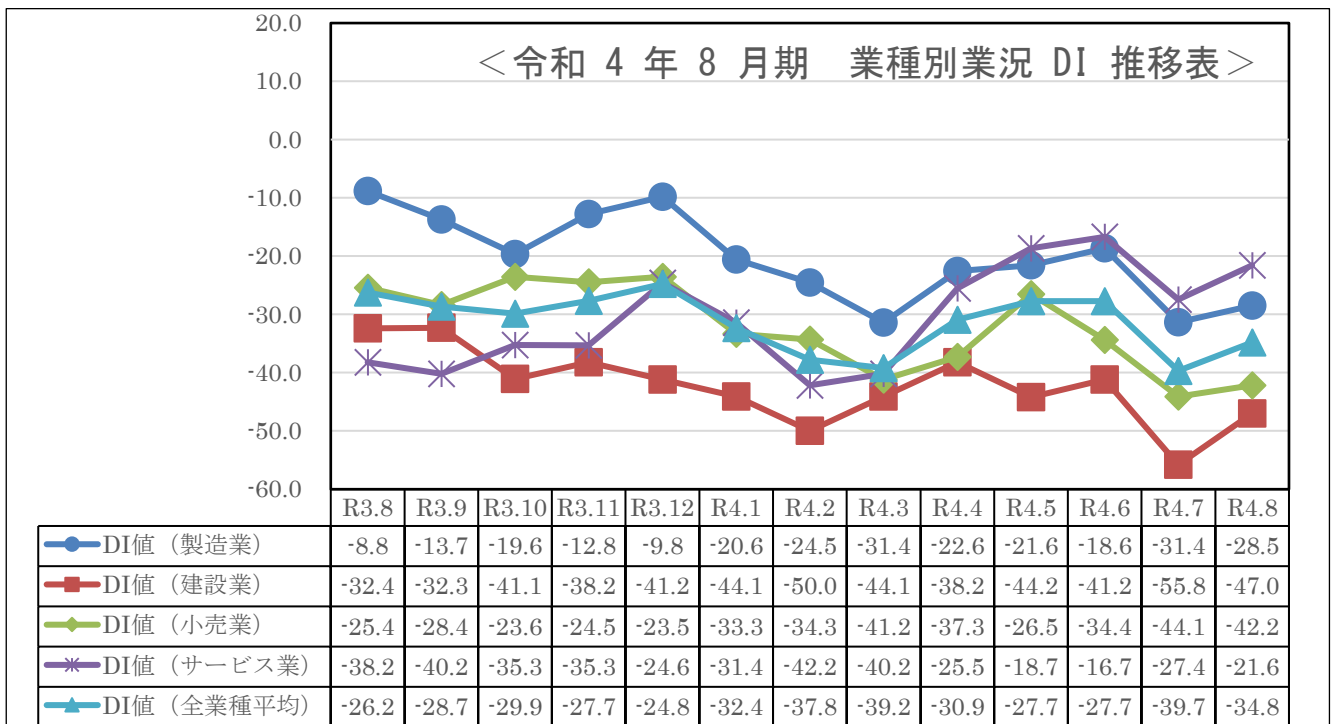
【小売業】

業況は-42.2（前月-44.1、前年同月-25.4）と前月に比べ 1.9pt 好転した。耐久消費財では、半導体不足やウクライナ情勢等により新車の販売台数が減少したが、中古車は伸びている。

【サービス業】

業況は-21.6（前月-27.4、前年同月-38.2）と前月に比べ 5.8pt 好転した。旅館業では予約が徐々に回復傾向にあるものの、コロナ禍前の水準には程遠い状況である。一方で、アウトドア・キャンプブームによる来場者の増加等に繋がっている事業者もある。

3 本調査に関する問合せ 静岡県商工会連合会 産業振興課 TEL054-255-9811〔担当：増田・中村〕



＜経営指導員コメント抜粋＞

【製造業】（食品製造業・繊維工業・機械金属業）

- ・乳製品の小売単価や配送料を上げ売上は増加したが、光熱費等が大幅に上昇した。（伊豆）
- ・食料品に関する材料は値上げが続き、価格に転嫁せざるを得ない状況である。（富士駿東）
- ・自動車部品関連では、原材料高騰による影響もあるが、外国人技能実習生等の現場労働者不足と新型コロナ感染者による待機者がバッテリーし、労働力不足に陥っている。（中部）
- ・自動車メーカーの生産減少に伴い、部品製造も受注が減少している。（中東遠）
- ・繊維工業では、広報やネット通販品を強化した結果、問合せや販路が増加した。（西遠）

【建設業】

- ・今年台風や豪雨による自然災害が多かったため、土木関係は例年より受注が多かったように見受けられる。（伊豆）
- ・木材等の建材不足が続いていたが、少しずつ供給が安定してきている。（富士駿東）
- ・リフォーム工事はあるが、新築工事の受注は無いに等しい状況である。（中部）
- ・価格高騰等で見積りや管理が難しく、手間請け工事のみ引き受ける事業者が多い。（中東遠）
- ・住宅リフォーム業で仕事が立込んできており、不足していた材料も揃いつつある。（西遠）

【小売業】（衣料品小売業・食品小売業・耐久消費財小売業）

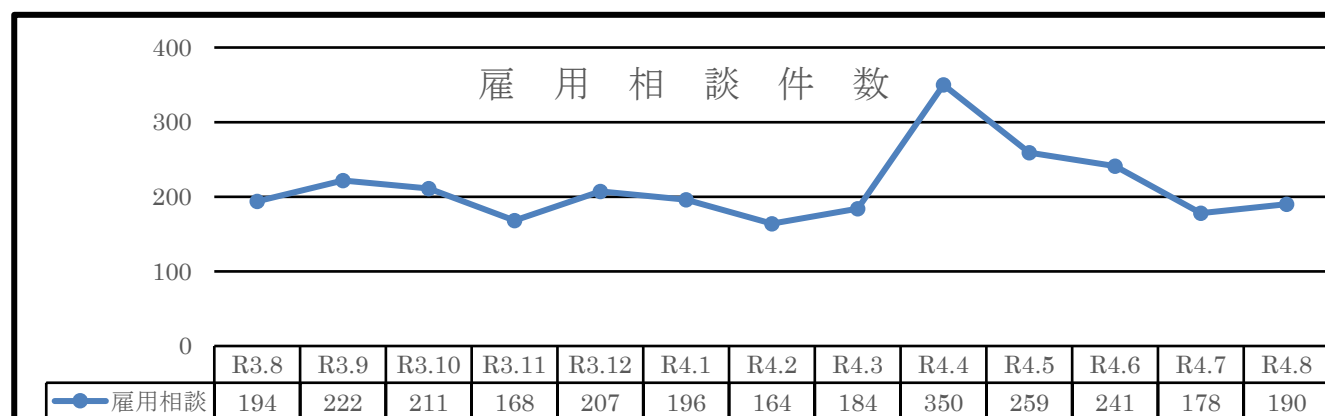
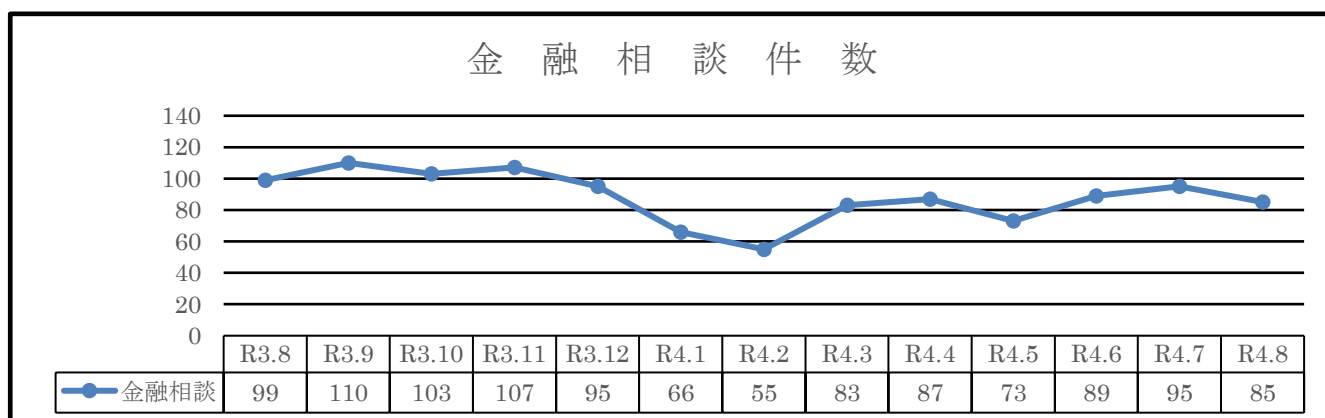
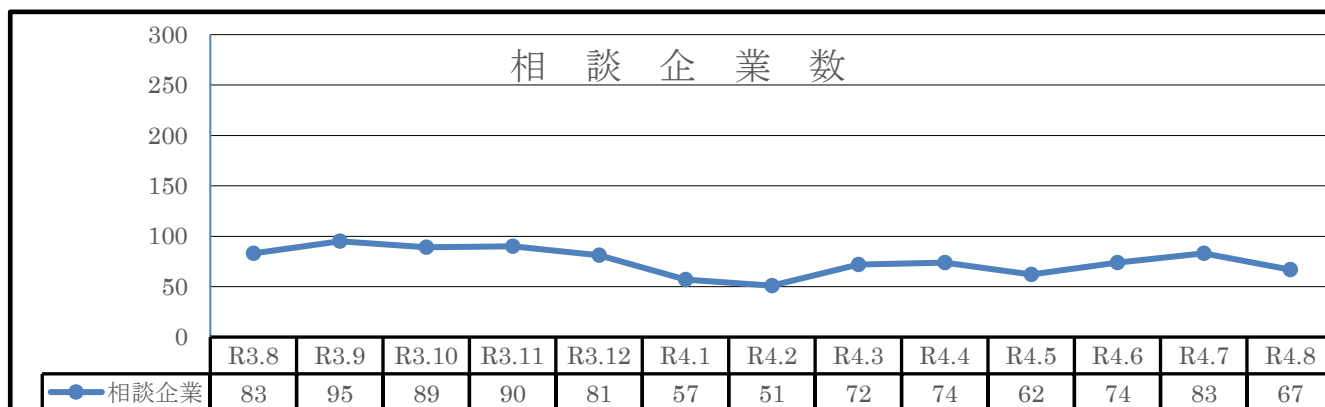
- ・婦人服は昨年同様、外出自粛等の影響もあり最低限の購入に留まる傾向である。（伊豆）
- ・全ての商品で仕入価格高騰に歯止めがかからず、販売価格も上昇することで消費が鈍くなっている。（富士駿東）
- ・酒類小売業では、飲食店の業況悪化に伴い未収金が発生する等、資金繰りが悪化している状況である。（中部）
- ・衣料品は旅行等を控える傾向もあり、商品の動きが鈍い。（中東遠）
- ・耐久消費財では、半導体不足及びウクライナ情勢により新車の販売台数が減少する一方で、中古車の販売台数は伸びている。（西遠）

【サービス業】（旅館業・洗濯業・理美容業）

- ・お盆期間を中心に局所的に忙しい時期があったものの、台風の影響もあり、コロナ禍前には程遠い状況である。（伊豆）
- ・夏休み合宿等の予約が少しずつ回復してきている。（富士駿東）
- ・理美容業は感染対策を講じているが、コロナ禍前の状況に戻るには時間を要する。（中部）
- ・洗濯業では、燃料・資材・電気料金高騰の影響を受けている。（中東遠）
- ・コロナ禍のキャンプブームにより、来場者が増加し売上アップに繋がっている。（西遠）

金融・雇用相談実績月次報告(令和4年8月期)

内容別内訳 (※1件の相談で複数の対応をした場合はそれぞれにカウント)	今月	前月	前月比
【相談企業数】	67	83	-16
【金融相談件数】	85	95	-10
新規融資(借換えを除く)	53	49	4
既存債務の借換え	32	46	-14
借入れ条件変更	0	0	0
消費者金融・商工ローン関連	0	0	0
貸し渋り・貸し剥がし	0	0	0
その他	0	0	0
【雇用相談件数】	190	178	12



【金融相談】

金融相談件数は、85 件と前月(95 件)に比べ 10 件減少した。コロナ関連融資の取扱期限が9月末であったため、借換え等に関する相談があった。

<経営指導員コメント>

- ・コロナ関連融資の取扱期限が9月末であったため、据置延長等の相談があった。(伊豆)
- ・コロナ関連の融資相談件数は少なくなっている。(富士駿東)
- ・諸経費支払い等の運転資金に関する相談があった。(中部)
- ・コロナ関連融資の取扱期限終了前に、借換えに関する相談があった。(中東遠)
- ・物価上昇の影響により、資金繰りが厳しくなっている事業者がある。(西遠)

【雇用相談】

雇用相談件数は、190 件と前月(178 件)に比べ 12 件増加した。従業員の確保や就業規則の見直し、新型コロナ対応等に関する相談があった。

<経営指導員コメント>

- ・人材確保を希望する事業者が多いが、コロナ禍で採算が合わず求人を躊躇っている。(伊豆)
- ・雇用調整助成金の支給上限が段階的に引き下げられたことにより、従業員の解雇等が懸念されていたが、現状は大きな影響が生じていない様子である。(富士駿東)
- ・従業員の確保難が生じている。(中部)
- ・雇用契約書や就業規則見直しに関する相談があった。(中東遠)
- ・新型コロナの濃厚接触者や陽性者への、会社としての対応や関連する助成金等の相談が多くあった。(西遠)

【その他商工会管内に関するコメント】

- ・「河津町小規模事業者おもてなし工事補助事業」において、採択を受けた事業が始まり、各事業所での販売拡大や、施工業者への売上効果も期待されている。(河津町)
- ・8/17(水)に海底熟成ワインまつり「らぶ・まーれ 2022」が開催され、ワインの飲み比べ等が行われた。(伊豆市)
- ・8/18(木)から8/20(土)まで、「土肥サマーフェスティバル海上花火大会 2022」が開催された。(伊豆市)
- ・9/5(月)から「2022 おやま応援プレミアム商品券」を販売した。(小山町)
- ・8/20(土)に「第36回かんばらまつり」が開催され、今回は出店ゾーンが無く、総踊りと抽選会が行われた。コロナ禍による縮小で、感染予防対策が徹底された。(静岡市清水)
- ・9/25(日)まで「トーマスフェア」が開催されているが、新型コロナ感染拡大や天候不順に伴い客足が少ない状況である。(川根本町)
- ・8/15(月)に「森町納涼花火大会」が4年ぶりに開催された。通常より30分短縮し1時間の開催で、露店の出店は無かったが、多くの人で会場が賑わった。(森町)
- ・8/26(金)から8/28(日)まで、「ふくろい応援商品券(第3弾)」の販売を行った。(浅羽町)
- ・8/20(土)に湖西市が主催する「湖西おいでん祭」が3年ぶりに開催された。市政50周年記念事業ということもあり、熱中症・感染症対策を講じて大々的に開催され、会員事業所も多数出展し自社商品のPRを行った。(新居町)